

令和２年度 第１回栗東市防犯のまちづくり審議会の概要

- ◆開催日時： 令和２年１０月２９日（木） 午後１時３０分～午後４時００分
- ◆開催場所： 栗東市危機管理センター２階 大研修室
- ◆出席者： 【委 員】武邑委員、池崎委員、多胡委員、坂口委員、吉永委員
田中委員、三木委員、片岡委員、木村委員
【草津警察署】生活安全課長
【栗 東 市】市長、危機管理監
【事 務 局】危機管理課長、危機管理課員３名
- ◆欠席者： 高畑委員、奥村委員、東郷委員
- ◆傍聴者： なし

概要

- １．開会
- ２．市民憲章唱和
- ３．あいさつ
 - ・栗東市長より
- ４．委嘱について
 - ・市長より各委員へ委嘱状を交付（代表で武邑委員に交付）
 - ・委嘱期間：令和２年１０月２９日から令和４年３月３１日まで
- ５．会長・副会長の選出について
 - ・会長に武邑委員が、副会長に池崎委員が就任
- ６．審議内容
 - ①栗東市の防犯施策の取り組み状況
 - ②栗東市および県内の犯罪情勢
 - ③今後の取り組みについて
 - ・資料に基づき、事務局より一括して説明
（資料２については草津警察署生活安全課長より説明）
 - ・意見、提言、質疑応答等（内容は後述）
- ７．閉会
 - ・あいさつー副会長

令和２年度 第２回審議会について

令和３年２月頃に開催を予定

委員の皆様からの意見、提言、質疑応答等

【犯罪情勢について】

○全体的に見ると犯罪が減少しているがその理由は？

→警察の取り組みとして、外国人によるドラッグストアでの万引き被害が多発していたことから、外国語の書かれたポスターを作成・配布し、その効果が得られたといえる。

また、新型コロナウイルスの影響で外出する人が減ったことから街頭犯罪も減ったと考えられる。

【啓発活動について】

○特殊詐欺被害防止啓発グッズとはどのようなものか。

→詐欺電話注意の文言が書かれた厚紙のグッズであり、それを市内の独居高齢者等に配布し、電話器に貼り付けてもらうことで、もし電話がかかってきた時にそれを読みながら対応することができるため、被害防止に繋がると考えている。

○出前トークができていないとあるが、自治会の活動の際に少しだけお話をしてもらったりすることは可能か。

→今年度は、防犯の出前トークに限らず、新型コロナウイルスの影響で人が集まる機会は減ってきている。広報等において、出前トークの案内について載せているため今後も引き続きお知らせを行い、少しでも多くの方に活用してもらえよう工夫していきたい。

○防犯デーの認知度が低いのではないか。

→各コミュニティセンターや市役所でのぼり旗を立てて啓発をしている。今後は SNS 等も活用しながら防犯デーの啓発をしていきたい。

【防災・防犯情報配信システムについて】

○登録者数が増えていないが、増やすための良い案はあるのか。

→防災・防犯情報配信システムについては、今年度で契約業者が撤退する関係で、来年度から新規の業者になる。システム更新の際に、再度市民の方への周知を行い、登録方法などがわかりやすくなるように工夫し、多くの方の登録を募りたいと考えている。

【防犯モデル地区について】

○防犯モデル地区について今後の方針について教えてほしい。

→防犯モデル地区の選定を行うことで地域の実態に基づいた事業を行うことができ、防犯意識の向上にも繋がると考えられるため、これから具体的な取り組み内容について考えていく必要がある。

地区の選定については、犯罪情勢等、現在の市内の状況を分析したうえで選定する必要がある。

【広報誌「まちかど」について】

○まちかどを各戸配布することはできないのか。

→まちかどについては、草津市にも配布するため、配布方法は草津市とも調整していきたい。

また、各課様々な広報紙等を自治会長にお願いする関係で、各戸配布すると自治会長の負担になる。しかし、今後、少しでも多くの方に見ていただける方法については検討していきたい。